

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月28日

【評価実施概要】

事業所番号	870200896		
法人名	株式会社 クリエイト		
事業所名	グループホーム久慈浜		
所在地	日立市久慈町3-14-14 (電話) 0294-52-6673		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年7月20日	評価確定日	平成20年1月10日

【情報提供票より】 (平成19年6月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月8日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	7人, 非常勤 9人, 常勤換算 6.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての 1～2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000円	その他の経費(月額)	21,000円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,300円		

(4) 利用者の概要(7月20日現在)

利用者人数	17名	男性	8名	女性	9名
要介護1	7	要介護2	4		
要介護3	5	要介護4	1		
要介護5					
年齢	平均 82.2歳	最低	63歳	最高	105歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	久慈茅根病院	日立港病院	月村歯科	徳永歯科
---------	--------	-------	------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームでは「利用者が家族や地域の人々とのつながりを大切にしながら、自分らしく生きていけるように支援する。」の理念を掲げ、職員に理解を促すため理念を復唱するとともに、毎月テーマを掲げ理念の実践に取り組んでいる。
職員は利用者の得意なことを把握するとともに、家庭菜園や外出時のカメラマンを依頼するなど、利用者に応じた場面づくりをしている。
また、利用者が育てた花をテーブルに飾る、また、育てた野菜を食材のひとつに加えるなど、利用者が喜びや生きがいを持って生活できるよう支援している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の外部評価の結果をもとに、利用者の状態変化に応じて介護計画を見直し、注意の必要な物品の保管場所を取り決めるなど改善している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自らの気づきや外部評価の結果について改善に取り組むとともに、全職員で自己評価を行っている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議の議事録を作成するとともに、会議の内容を職員に周知を図り、職員全員で課題の改善や要望を取り入れられるよう対応している。 市の事業者懇談会や連絡会に出席しており、ボランティア派遣等の相談をするなど、意見交換や情報交換を行っている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の訪問時に意見や要望を把握できるよう働きかけるとともに、電話等でも話が聞けるよう留意している。 家族からの意見等について、改善に向けて検討するとともに、改善に努めている。 月1回金銭管理の報告とともに、利用者の日頃の様子を添えた手紙や写真を送付している。 職員の異動等は運営推進会議の議事録に記載し、家族に送付している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の清掃や祭り等の行事に参加したり、事業所のイベントに地域の方々を招待するなど、積極的な地域交流に努めている。 花火大会には近隣のホームに招待されるなど、ホーム間で交流している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームでは「利用者が家族や地域の人々とのつながりを大切にしながら、自分らしく生きていけるように支援する。」ことを理念に掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝理念を復唱し職員間で意識付けを行うとともに、月ごとにテーマを掲げるなど、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の清掃や祭り等の行事に参加したり、事業所のイベントに地域の方々を招待するなど、積極的な地域交流に努めている。	○	地域の施設を利用するほか、幼稚園や学校に来所を依頼する等、更なる交流を深める取り組みを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自らの気づきや外部評価の結果について改善に取り組むとともに、全職員で自己評価を行っている。 前回の外部評価の結果をもとに、利用者の状態変化に応じて介護計画を見直し、注意の必要な物品の保管場所を取り決めるなど改善している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の議事録を作成するとともに、会議の内容を職員に周知し、職員全員で課題の改善や要望を取り入れられるよう対応している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の事業者懇談会や連絡会に出席しており、ボランティア派遣等の相談をするなど、意見交換や情報交換を行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回金銭管理の報告とともに、利用者の日頃の様子を添えた手紙や写真を送付している。 職員の異動等は運営推進会議の議事録に記載し、家族に送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に意見や要望を把握できるように働きかけるとともに、電話等でも話が聞けるよう留意している。 家族からの意見等について、改善に向けて検討するとともに、改善に努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職は少ないが、利用者へのサービスの質が低下しないよう配慮している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修情報を掲示するとともに、職員の勤務調整を行うなど、研修を受け易い環境づくりをしている。 研修参加者は、研修内容をミーティング等で報告し、情報を共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の事業所連絡会に加入し、近隣の事業所と合同による救急救命の講習を実施している。 また、花火大会には近隣のホームに招待を受け、利用者とともにホームを訪問し、利用者交流を行っている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に事業所の見学をしてもらうほか、他の利用者との交流を経て、納得した上で利用を開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりの生活歴等を把握するとともに、カメラを得意する利用者にはカメラマンに、家庭菜園では職員が利用者から指導を受けるなど、生活歴を活かす場面づくりをしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人や家族の希望、意向をよく聴き、それに添って生活しているかを日々確認している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意向を第一に考え、関係者と職員間で話し合い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、利用者の状態に変化があった場合は必要な関係者と話し合い、見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームのみの運営であるが、医療連携加算を取得し、「看取りに関する指針等」を作成し、利用者が安心してホームで生活できる環境を整備している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望でかかりつけ医を決定している。 定期的及び病状に応じての受診等、適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「重度化した場合の対応にかかる指針」「看取りに関する指針」を作成し、利用者の家族の同意を得ている。 現在まで対応していないが、職員も方針を理解している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の記録は本人以外をイニシャルで記入するとともに、プライバシーに配慮した言葉かけや対応を行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して暮らせるよう支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が同じ物を一緒に食べ、片付け等を行っているが、献立は利用者の好みに配慮するには至っていない。	○	利用者が楽しんで食事ができるよう、献立に配慮したメニューを作成することを期待する。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間帯は決めているが、利用者が満足できる入浴時間や入浴順を調整し、ゆったり楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみ、家庭菜園での野菜作り、食後の片付け、外出時のカメラ撮影等、利用者一人ひとりが役割をもって楽しい日々を過ごせるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や本人の気分、希望に応じて散歩、日光浴等を実施している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者単独での外出による事故防止のため、玄関の鍵のみ施錠している。 玄関以外は鍵をかけていないので、事業所内や庭などは自由に出入りができる。	○	利用者の行動状況等を把握するとともに、玄関の出入りがわかる工夫をするなど、玄関に鍵をかけない工夫や検討することを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の指導のもと、防災訓練を実施するとともに、非常時の対応マニュアルを作成している。 また、食料品を備蓄するとともに、夜間の避難訓練を計画している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を作成し、利用者の食事や水分の摂取量を把握しているが、主菜を残す利用者が多く、利用者に応じた配食をするまでには至っていない。	○	利用者一人ひとりの好みや状態、習慣に応じた献立、調理方法を工夫することが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂の壁面に、手づくりカレンダーや利用者が撮った写真を掲示するとともに、テーブルに利用者が育てた季節の花を飾っている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた家具等を持ち込み、本人が居心地よく過ごせるよう配置している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。